

Panasonic®

取扱説明書

ビデオオンデマンドサーバー
ビデオサーバーソフト
品番 WE-AS880A

このたびは、ビデオサーバーソフトをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
た。

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

はじめに

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下電器産業株式会社（Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.）はいかなる責任、債務も負わないものとします。

商標および登録商標について

- L3 Stageは、松下電器産業株式会社の商標です。
- PERSONAL SURROUNDは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Adobe®、Adobeロゴ、Acrobat® Reader®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® Windows Media® Playerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

著作権について

本製品を使用して、他人の著作物（例：CD、DVD、ビデオなどの媒体に収録されている映像・音声・静止画など）を録音、録画、編集する場合、以下の点に注意する必要があります。

- (1) 著作権上、個人的に使用する目的で著作物を複製する場合を除き、その他の複製あるいは編集などが著作権を侵害する恐れがあります。収録されている媒体などにより示されている権利者、販売元または権利者団体などを介して、著作権・著作権者から許諾を得て、複製、編集などを行う必要があります。
- (2) 学校その他の教育機関における著作物（教材など）の複製は、著作権法第35条で、その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、かつ著作権者に損害を与えない範囲において著作物を複製できる、となっています。また、著作物（教材など）、またはその複製物は、著作権者の権利を侵害しない限り、お客様の責任において自由にお使いいただくことができます。

もくじ

●はじめに

はじめに	2
商標および登録商標について	2
著作権について	2
パッケージの内容	4
免責について	4
本書およびマニュアルについて	5
主な機能	8
システムの準備	9

●運用編

運用メンテナンス	12
システムの状態監視	12
コンテンツの登録と再生方法	13

●セットアップ編

セットアップ	14
セットアップ手順	14
単体動作環境の設定と確認	17
インストール方法の詳細	20
本システム用の環境設定	21
動作確認	30

●付録

トラブルシューティング	31
-------------------	----

パッケージの内容

- CD-R（次のデータが収められています）
 - ・ VideoShower
 - ・ VideoShower (Client)
- 取扱説明書（本書）

免責について

- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
 - ② お客様の誤使用や不注意による損害または本商品、教材の破損等
 - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用（授業を含む）ができないことなどによる不便・損害・被害
 - ⑤ 第三者が製造した機器、ソフトウェア等（弊社が組み込みあるいは推奨したかどうかにかかわらず）の不具合またはそれらと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥ 利用者または第三者により、本商品を構成するネットワークの管理者エリア等へ不正アクセスが行われ、あるいは当該ネットワークから外部ネットワークへ不正アクセスが行われること、またはかかる不正アクセスに伴う不具合および損害・被害等（データの改ざん、個人情報の漏えいを含む）

本書およびマニュアルについて

●本書の見かた

本書は、“運用編”と“インストール編”に分かれています。

運用編

運用メンテナンス時の操作方法、コンテンツの登録、再生方法について説明しています。

システム管理者および工事業者の方は、はじめによくお読みください。

インストール編

サーバー／クライアントに関するインストールや環境設定など設置に関する内容に関して説明しています。

システム管理者および工事業者の方は、はじめによくお読みください。

●対象読者

- ・本書は、本システムを導入設置される方を対象に記述しています。
本システムを導入設置するためには、Windows2000ServerまたはWindowsServer2003、ネットワークに関する知識が必要です。

●文章上の表現

- ・"☞"は、参照ページをあらわしています。

本書で使用している用語について

- ・オーサリングソフト : マルチメディア授業支援システムで教材を作成するときに使用します。
- ・学習者パソコン : マルチメディア授業支援システムで学習者用のソフトがインストールされたパーソナルコンピューターです。学習者が使用します。
- ・教材作成パソコン : マルチメディア授業支援システムでオーサリングソフトをインストールして、教材を作成するパーソナルコンピューターです。
- ・制御パソコン : マルチメディア授業支援システムで制御用のソフトがインストールされたパーソナルコンピューターです。先生が使用します。

本書およびマニュアルについて（つづき）

- ・ビデオサーバー : 配信したい動画／音声などのデータを登録しておくサーバーです。マルチメディア授業支援システムでは、WBT型教材の動画ファイルを登録します。
- ・マルチメディア授業支援システム (L3 Stage) : パソコンを最大限に活かした語学学習（聞く・話す・読む・書く）、情報リテラシーの学習をサポートするための授業支援システムです。

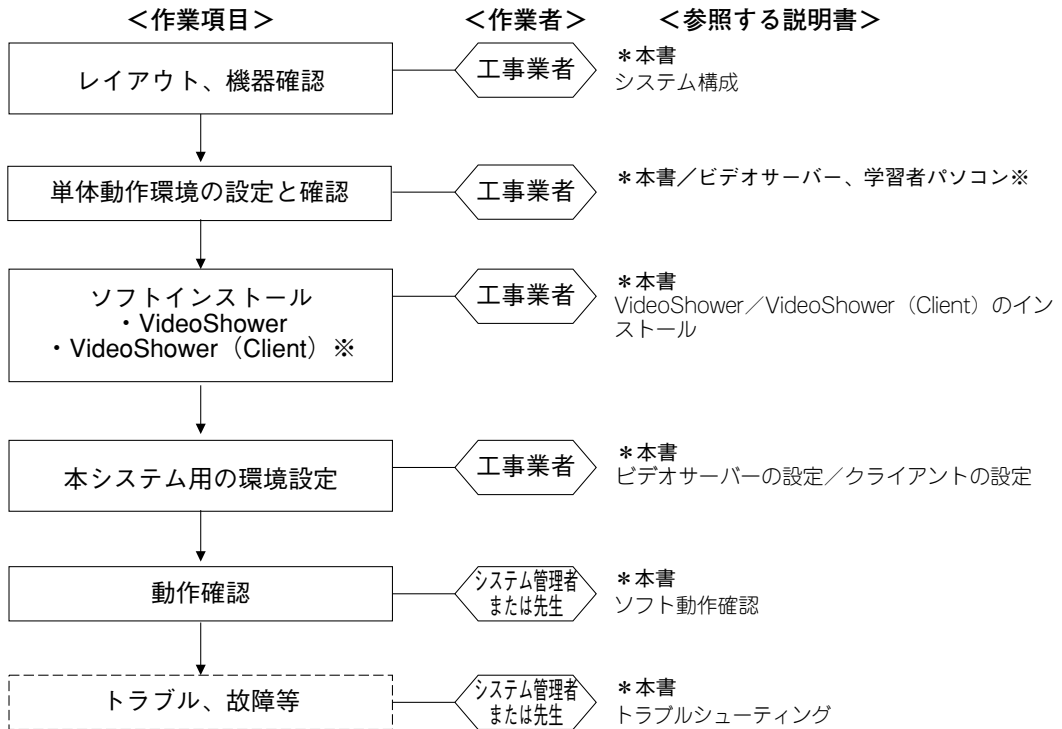
略称について

本書では、米国Microsoft Corporationの各製品を下記のように表記しています。

- ・ Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition日本語版 : Windows Server 2003
- ・ Microsoft Windows 2000 Server日本語版 : Windows 2000 Server
- ・ Microsoft Windows XP Professional日本語版 : Windows XP
- ・ Microsoft Windows 2000 Professional日本語版 : Windows 2000

また、上記製品のうちいくつかに関して共通の説明を記載している箇所では、これらをまとめてWindowsと表記しています。

●ビデオサーバーの設置～運用・メンテナンスは、以下の手順に従って行ってください。



□ は、必ず行ってください。

□□□ は、必要に応じて行ってください。

※学習者パソコンの単体動作環境の設定と確認、VideoShower (Client) のインストールは、本ソフトをマルチメディア授業支援システム (L3 Stage) で使用する場合は、必要ありません。

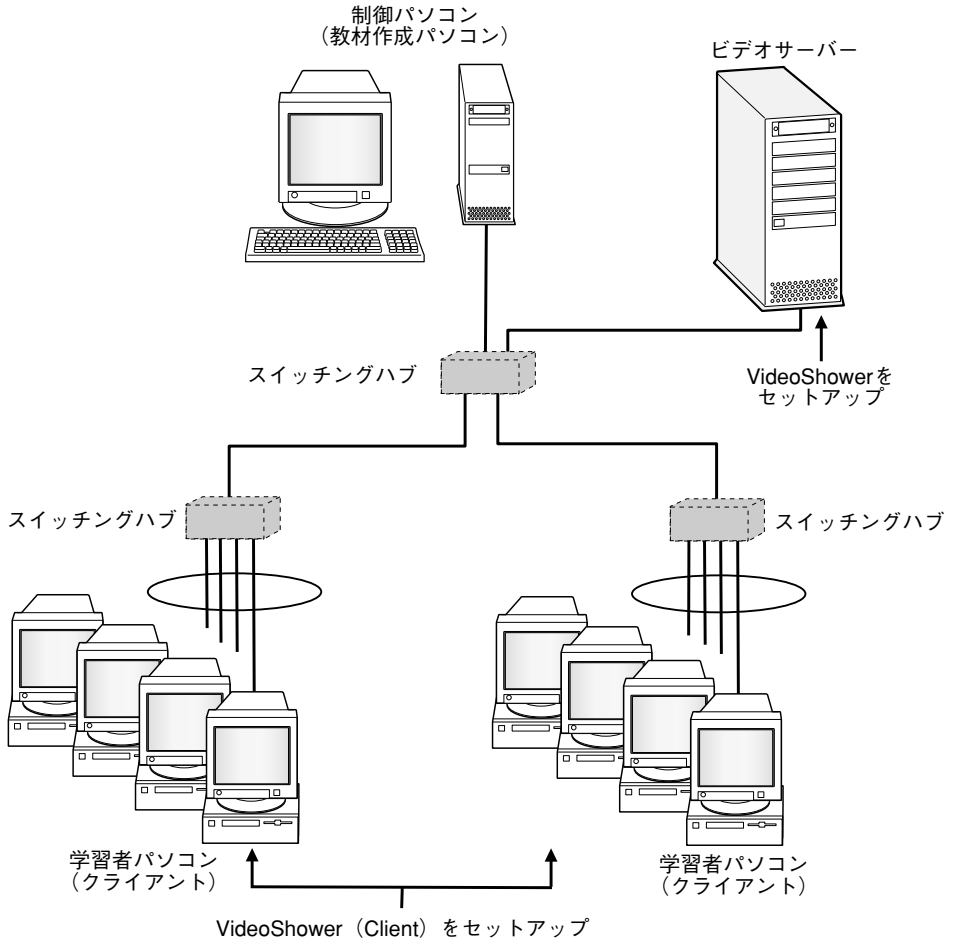
主な機能

本ソフトウェアは、動画／音声などの各種メディアを統合的に記録、蓄積、配信することができる、ビデオサーバーソフトです。

- マルチメディア授業支援システム（L3Stage）で使用する場合、動画を使用したWBT型教材が利用できます。
- クライアント端末からの要求に応じて動画（MPEG-1）をリアルタイムで途切れなく送出します。
- 動画送出能力は、MPEG-1動画（1.5 Mbps）を使用した場合、100 Mbpsのイーサネットでは40端末、高速 1 Gbpsのイーサネットでは80端末への同時送出が可能です。
- ハードディスク約18 GB×2台を使用することで、MPEG-1動画データ（1.5 Mbps）を約48時間蓄積することができます。動画送出能力は、ハードディスクによって異なります。
- サーバー本体のオペレーティングシステムには、マイクロソフト社のWindows2000ServerまたはWindowsServer2003を使用します（WindowsOSは、本体には含まれません）。
- ネットワークプロトコルはTCP/IPを、ネットワーク上のファイルシステムとしてWindowsのファイル共有機能を用いているため、DOS/VなどのWindowsマシンをクライアントシステムとして利用できます。
- Windows Media PlayerなどのWindowsアプリケーションからビデオサーバー機能を利用することができます。

システムの準備

システム構成例



システムの準備（つづき）

機器の仕様と構成

●サーバーの仕様と構成

本ソフトに必要なサーバーの仕様と構成は次の通りです。
最大転送レートの違いによって、下記のような構成例があります。

機器	構成例1	構成例2
最大転送レート	60 Mbps（1.5 Mbps×40端末）	120 Mbps（1.5 Mbps×80端末）
CPU	Pentium III 933 MHz以上	
メモリ	256 MB以上	512 MB以上
SCSIハードディスク (データ用)	SEAGATE社製 Cheetahシリーズ (別途システム用HDD必要) Ultra 160 SCSI 10 000 rpmの場合：2台 Ultra 160 SCSI 15 000 rpmの場合：1台	SEAGATE社製 Cheetahシリーズ (別途システム用HDD必要) Ultra 160 SCSI 10 000 rpmの場合：4台 Ultra 160 SCSI 15 000 rpmの場合：2台
SCSIカード (増設)	Adaptec社製 Ultra 160 SCSI 29160	
ネットワークカード	Intel社製 100 Base-TX	Intel社製 1000BASE-TX または1000BASE-SX
OS	Windows2000 Server / Windows Server 2003	

📌注意📌

- データ用HDDとシステム用HDDは異なるSCSIバスに接続してください。
- データ用HDDへの書き込みはRAID 0 を使用しています。
- DVD-RAMドライブは接続しないでください。
- マルチメディア授業支援システム（L3 Stage）でご使用の場合は、システムソフトの取扱説明書の「機器の仕様」も合わせてお読みください。

●クライアントの仕様と構成

本ソフトに必要なクライアントの仕様と構成は次の通りです。

OS	: Windows2000 / WindowsXP
CPU	: Celeron 733 MHz以上
メモリ	: 256 MB以上

📌注意📌

マルチメディア授業支援システム（L3 Stage）でご使用の場合は、システムソフトの取扱説明書の「機器の仕様」も合わせてお読みください。

●ネットワーク

システムを構成するネットワーク部品は、サーバー構成によって異なります。具体的な構成については、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

📌注意📌

スイッチングハブの機種、品番については、お買い上げの販売店へお問い合わせください。再生する動画の種類および接続端末数によって、必要な機器などが異なります。

運用メンテナンス

システムの状態監視

ビデオサーバーの機能が正常に動作しているかを確認します。

1. Windowsの [スタート] メニューから「プログラム」 → 「VideoShower Ver4.3」 → 「VideoShower Performance」 を選択します。
2. ウィンドウが開き、ビデオサーバーの状態が表示されます。
表示される情報
Client ……本システムの接続端末台数
Disk ……ディスク転送速度 (Mbps)
Network……ネットワーク転送速度 (Mbps)
CPU ……CPU使用率 (%)

VideoShower Performanceの表示例

Client (TS/SK)	Disk (Mbps) (r/w)	Network (Mbps) (r/w)	CPU (%)
40 (41/41)	49.273/12.523	50.516/13.424	28
40 (41/41)	59.699/12.801	52.745/12.801	34
40 (42/41)	44.763/11.581	53.389/15.281	32
39 (41/41)	41.802/12.215	41.825/12.481	35
40 (41/41)	50.462/12.303	43.258/12.124	36
40 (40/41)	49.246/12.119	52.214/14.142	30
40 (41/41)	54.348/11.210	52.593/13.425	38
40 (41/41)	55.215/12.341	52.728/12.342	31
40 (40/41)	54.022/12.218	52.293/13.102	33

コンテンツの登録と再生方法

●マルチメディア授業支援システム（L3 Stage）での使用時

ビデオサーバーへの教材登録は、別売のオーサリングソフト（WE-AS870A）で行います。詳しくは、オーサリングソフトの操作マニュアルをお読みください。

●L3 Stageシステム以外での使用時

ビデオサーバー上のデータ用ディスク（mfs\$領域）に登録したコンテンツ（音声、映像ファイルなど）が制御対象になります。

登録は、直接ビデオサーバーでエクスプローラを起動し、データ用ディスクにコピーするか、ネットワーク経由でコピーしてください。

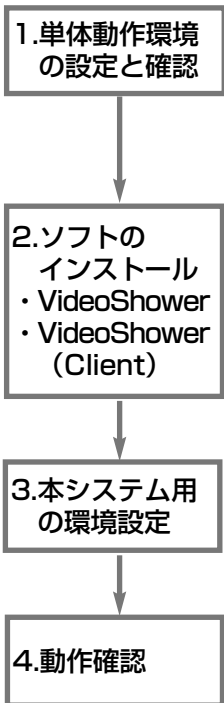
📌注意📌

- ネットワークドライブとしてマウントしたビデオサーバーのデータ用ディスク（mfs\$領域）へのコピーは、書き込み制御がかかるため行わないでください。コピーする場合は、「ネットワークコンピュータ」からビデオサーバーのmfs\$領域を開いてコピーしてください。
- mfs\$領域に登録するコンテンツ（音声、映像ファイル）の総ビットレートは、基本転送レートで設定する数値（初期設定：1.5 Mbps）以下のものを使用してください。それを超えるコンテンツを登録した場合、音声、映像再生時に途切れる場合があります。

セットアップ

セットアップ手順

本システムのセットアップは、以下の手順で行います。



1. 単体動作環境の設定と確認
本ソフトをインストールする前に必要な、サーバーやパソコン固有の単体設定です。ここでの設定が正しく行われていないと、本ソフトをインストールしても、正常に動作しない場合があります。各機器に必要な性能条件は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. ソフトのインストール
ビデオサーバーソフト (WE-AS880A) のCD-ROMからインストールします。以下の手順で行ってください。

- (1) ビデオサーバー (VideoShower)
- (2) クライアント (VideoShower (Client))

3. 本システム用の環境設定
本ソフトをインストールした後に必要な、サーバーやパソコン固有の設定です。ここでの設定が正しく行われていないと、本ソフトをインストールしても、正常に動作しない場合があります。

4. 動作確認
全ての設定やインストールが正しく行われたかを確認するために、必ず行ってください。本書の「動作確認」(p.30ページ)をお使いください。

セットアップ手順は、各機器ごとに共通の内容と、個別の内容とがあります。次ページ以降の各機器ごとのセットアップの流れに沿って作業を行い、実施確認をしてください。詳細方法については、記載ページをご参照ください。

注意

- セットアップの各作業は、各機器ともAdministrator権限を持つユーザーでログインして行ってください。
- マルチメディア授業支援システム (L3 Stage) でご使用の場合は、クライアントは学習者パソコンになります。その場合、ここでのセットアップは行わず、システムソフトの学習者パソコンのセットアップを行ってください。また、ビデオサーバーの「単体動作環境の設定と確認」および「本システム用の環境設定」についても、本書に記載の作業以外にL3 Stageで使用するためのセットアップ作業があります。詳しくは、システムソフトの取扱説明書をお読みください。

●ビデオサーバーのセットアップ

マルチメディア授業支援システム（L3 Stage）でご使用の場合は、システムソフトの取扱説明書に記載のビデオサーバーのセットアップも行ってください。

確認

単体動作環境の設定と確認	1. SCSIカードとデータディスクの取り付け（☞使用製品の取扱説明書） ☞注意☞ データディスクは、必ずシステムディスクとは別のSCSIカードに接続してください。	
	2. OSの確認（Windows 2000 ServerまたはWindows Server 2003）（☞使用製品の取扱説明書）	
	3. データディスクの準備と確認（パーティション作成など）（☞17ページ）	
	4. SCSI/LANのドライバーの確認 ☞注意☞ ドライバーは、必ず最新版をメーカーのホームページなどから入手してください。	
ソフトのインストール	1. 旧バージョンのアンインストール（インストールされている場合のみ）（☞20ページ）	
	2. ビデオサーバーソフト（VideoShower）のインストール（☞20ページ） Setup.exeの格納場所（WE-AS880A CD-ROM）： ¥Serverフォルダー内	
	3. バッチファイルVideoServer.batの実行（フォルダーの共有設定） Setup.exeの格納場所（WE-AS880A CD-ROM）： ¥Serverフォルダー内	
本システム用の環境設定	1. プロダクトIDの確認（☞21ページ）	
	2. ライセンスパスワード（16進数30桁の値）の入手 販売店に上記プロダクトIDを連絡します。 ☞注意☞ OSを再インストールすると、プロダクトIDが変わりますので、再度ライセンスパスワードの発行が必要になります。	
	3. フォルダーの共有設定確認（☞22ページ）	
	4. VideoShowerの初期設定（☞23ページ）	
	5. ネットワークの設定（☞26ページ）	

動作確認へ（☞30ページ）

セットアップ (つづき)

●クライアントのセットアップ

マルチメディア授業支援システム (L3 Stage) でご使用の場合は、学習者パソコンのセットアップが完了していれば、ここでの作業は不要です。

確認

単体動作環境の設定と確認	<ol style="list-style-type: none"> OSの確認 (Windows 2000 ServerまたはWindows XP) (☞使用製品の取扱説明書) 関連コンポーネントの確認 <ul style="list-style-type: none"> ・サウンドドライバー ・グラフィックドライバー ・LANドライバー 	
↓		
ソフトのインストール	<ol style="list-style-type: none"> 旧バージョンのアンインストール (インストールされている場合のみ) (☞20ページ) VideoShower (クライアント) のインストール (☞20ページ) Setup.exeの格納場所 (WE-AS880A CD-ROM) : ¥Clientフォルダー内 	
↓		
本システム用の環境設定	<ol style="list-style-type: none"> ネットワークドライブの割り当て (☞29ページ) 	

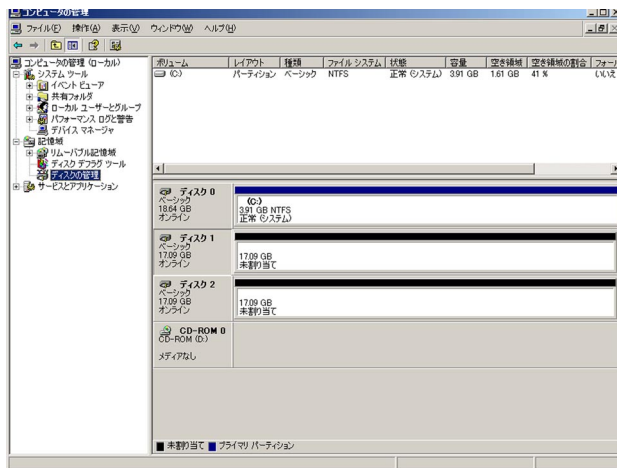
↓
動作確認へ (☞30ページ)

単体動作環境の設定と確認

●データディスクの準備と確認（ビデオサーバー）

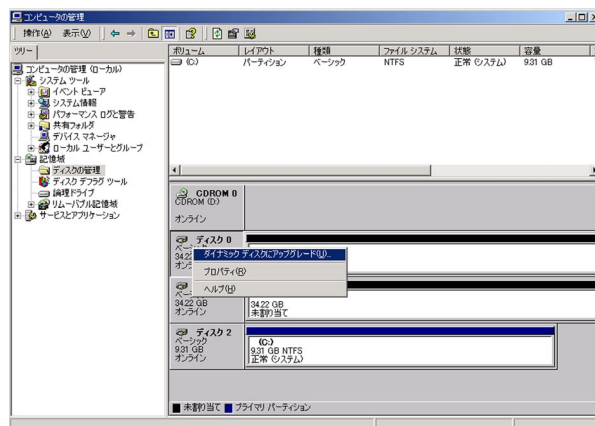
1. Windowsの「コントロールパネル」から「管理ツール」を選択し、「コンピュータの管理」を開きます。

図 コンピュータの管理画面



2. ツリーの中にある「ディスクの管理」をクリックします。
ディスクの管理で正しく認識されていることを確認してください。
3. データディスク用に増設したドライブを右クリックし、「ダイナミックディスクにアップグレード」をクリックします。
→ダイナミックディスクにアップグレード画面が表示されます。

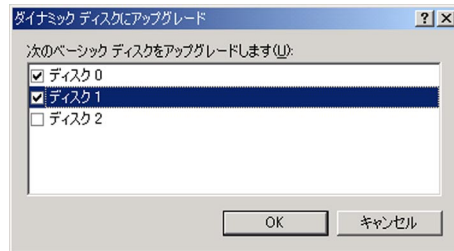
図 ダイナミックディスクにアップグレード1の画面



セットアップ (つづき)

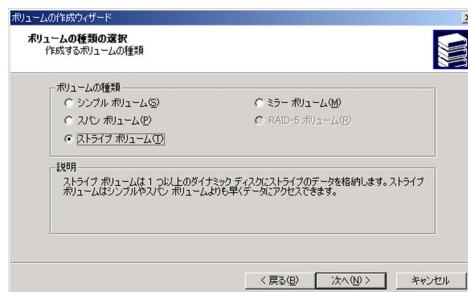
4. データディスクとして使用するディスク番号にチェックを入れます。ここではドライブを2つ使用する場合を例に説明します。

図 ダイナミックディスクにアップグレード2の画面



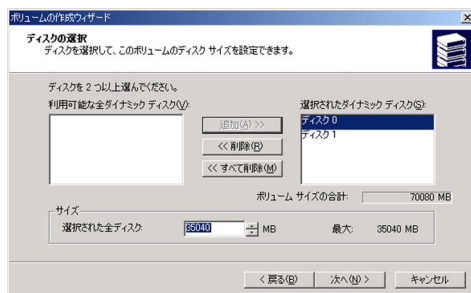
5. データディスクに設定するドライブを右クリックし、「新しいボリューム」をクリックします。
→ボリュームの作成ウィザード画面が表示されます。
6. 新しいボリュームの作成ウィザード画面の「ボリュームの種類と選択」で「ストライプボリューム」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
→ボリュームの作成ウィザード画面が表示されます。

図 ボリュームの作成ウィザード画面



7. 「利用可能なディスク」欄からデータディスクに設定するディスク番号を選択し、「追加」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

図 ディスクの選択画面



8. ドライブ文字またはパスの割り当て画面が表示されたら、ドライブ文字の割り当てで「R」ドライブに設定し、「次へ」ボタンをクリックします。
9. ボリュームのフォーマット画面で「このボリュームを以下の設定でフォーマットする」を選択し、デフォルトの設定でフォーマットします。ここでは、クイックフォーマットではなく、通常のフォーマットを行ってください。

セットアップ (つづき)

インストール方法の詳細 (ビデオサーバー、クライアント共通)

●セットアッププログラムの開始方法

- ①インストールするサーバーまたはパソコンのCD-ROMドライブに、本ソフト (WE-AS880A) のCD-ROMをセットします。
WindowsXPをご使用の場合は、挿入したディスクに対しての動作を選択するウィンドウが開きますので、「フォルダーを開いてファイルを表示する エクスプローラ使用」を選んで [OK] ボタンをクリックします。操作手順④に進んでください。
- ②マイコンピュータのアイコンをダブルクリックします。
- ③CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックします。
- ④各セットアッププログラムが格納されているフォルダーを開き、
setup.exeをダブルクリックします。
→セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- ⑤ライセンス契約画面では、内容をよくお読みいただき、同意される場合は、[はい] ボタンをクリックします。
- ⑥インストールを実行する場合は、[はい] (または [次へ]) ボタンをクリックします。
インストールパスは変更しないでください。
→インストールが開始されます。インストールが完了すると、終了画面が表示されます。
- ⑦ [完了] ボタンをクリックします。ビデオサーバーの場合は、「プロダクトIDを表示する」「続けて初期設定を行う」にチェックを入れてください。クライアントの場合は、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択してください。

●アンインストール方法

アンインストールは、以下の手順で行ってください。

- ①Windowsの「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
- ②ダイアログリストの中からアンインストールするソフトを選択します。
 - ・ビデオサーバー→VideoShower
 - ・クライアント→VideoShower (Client)
- ③ [変更/削除] ボタンをクリックします。その後、画面の指示に従って操作してください。

本システム用の環境設定

●プロダクトIDの確認（ビデオサーバー）

ライセンス・パスワードを入手するためのプロダクトIDを確認します。ビデオサーバーソフトのインストール終了画面で「プロダクトIDを表示する」にチェックを入れて [完了] ボタンをクリックすると、メモ帳が開き、プロダクトIDが表示されます。

または、ビデオサーバーソフトのCD-ROMから、以下のバッチファイルを実行します。

```
¥Server¥productID.bat
```

図 プロダクトID発行画面



セットアップ (つづき)

●フォルダーの共有設定確認 (ビデオサーバー)

ビデオサーバーソフトのインストール後に、CD-ROMのServerフォルダー内にあるバッチファイルを実行した場合は、自動的に新規フォルダーが作成され、共有設定が行われます。下表の通りに正しく設定されているかエクスプローラで確認してください。バッチファイルが正常に動作しない場合は、以下の手順に従って、下表の通りにフォルダーを作成し、共有設定を行ってください。

新規作成フォルダー	共有名
R:¥mfs	mfs\$およびmfs2\$

- ①Windowsの「エクスプローラ」を開き、マイコンピュータでフォルダーを新規作成します。
- ②作成したフォルダーを選択し、マウスの右ボタンメニューから「共有」を選択します。
→フォルダーのプロパティ画面が表示されます。
- ③「このフォルダーを共有する」をチェックし、共有名に「mfs\$」を入力します。
- ④ [新しい共有] ボタンをクリックして、共有名に「mfs2\$」を入力します。

マルチメディア授業支援システム (L3Stage) で使用するWBT型教材以外の動画教材をご利用の場合は、以下の手順に従って、下表の通りにフォルダーを作成し、共有設定を行ってください。

新規作成フォルダー	共有名
R:¥vod	vod\$

- ①Windowsの「コマンドプロンプト」を起動します。
- ②下表のように、コマンドを実行します。
C:¥Program Files¥VNS¥v43>shareedit -add vod\$

📌注意📌

- 教材登録・再生時に、上記共有フォルダーへアクセスします。各ユーザーから共有フォルダーへのアクセス権は、フルコントロールに設定してください。
- ビデオサーバー以外のパソコンから、ネットワークドライブとしてマウントしているビデオサーバーのmfs\$領域への書き込みは、書き込み制御がかかります。ビデオサーバーのmfs\$領域への書き込みは、「マイネットワーク」から共有フォルダーを開いて行ってください。

●VideoShowerの初期設定（ビデオサーバー）

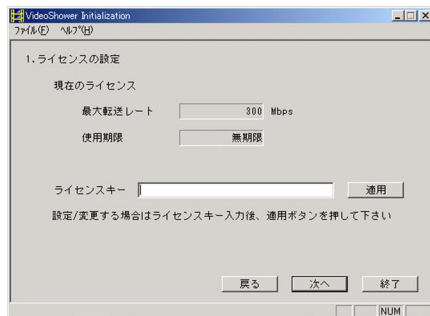
1. ビデオサーバーソフトのインストール終了画面で、「続けて初期設定を行う」にチェックを入れて [完了] ボタンをクリックするか、またはWindowsの [スタート] メニューから「プログラム」→「VideoShowerVer4.3」→「VideoShowerSetting」を選択します。
→初期設定ツールが起動します。
2. 管理ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。管理ユーザー名は Administratorを入力し、パスワードは Administratorでログインするときのパスワードを入力してください。

図 起動画面



3. 起動画面で [次へ] ボタンをクリックします。
→ライセンスの設定画面が表示されます。

図 ライセンスの設定画面

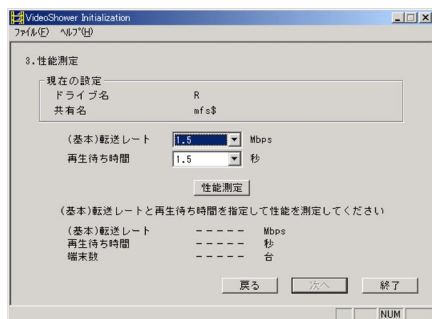


4. ライセンスキーの入力欄に取得済みのライセンス・パスワードを入力し、[適用] ボタンをクリックします。
→最大転送レート／使用期限のライセンス情報が更新されます。

セットアップ (つづき)

5. ライセンスキー情報を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
→ディスクの設定画面が表示されます。
6. ドライブの共有名は、mfsとなっています。mfs\$に変更して [次へ] ボタンをクリックします。
→性能測定画面が表示されます。

図 性能測定画面



注意



RAIDドライブ名に、「A~H」を選択しないでください。

7. 転送レートに1.5、再生待ち時間1.5を選択後、[性能測定] ボタンをクリックします。
→性能測定が開始されます（性能測定には数分かかります）。性能測定が終了すると、（基本）転送レート、再生待ち時間、端末数の性能測定値が表示されます。
8. [次へ] ボタンをクリックします。
→コンフィギュレーション画面が表示されます。

図 コンフィギュレーション画面



-
9. コンフィギュレーション画面には、これまでの設定内容が表示され
ます。設定内容に問題がなければ、[設定実行] ボタンをクリックしま
す。

 **重要** 

コンフィギュレーションを実行すると、ディスクの内容は全て消去されます。
また、以前の設定が行われていた場合も、設定内容が全て更新されますので、
ご注意ください。

セットアップ (つづき)

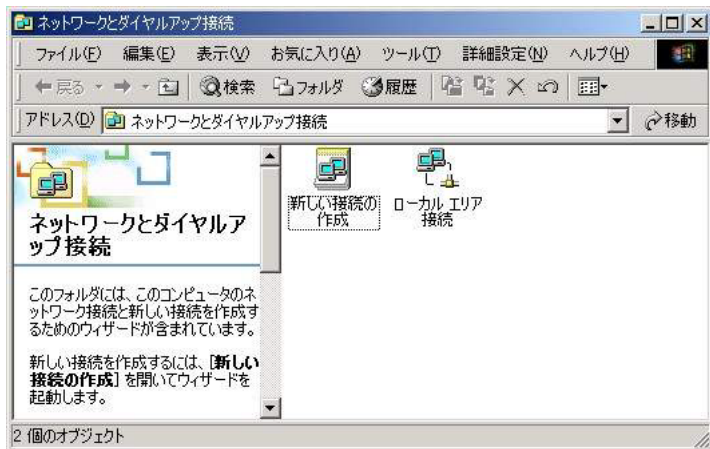
●ネットワークの設定 (ビデオサーバー)

1. Windowsの「コントロールパネル」から「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開きます。

→ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

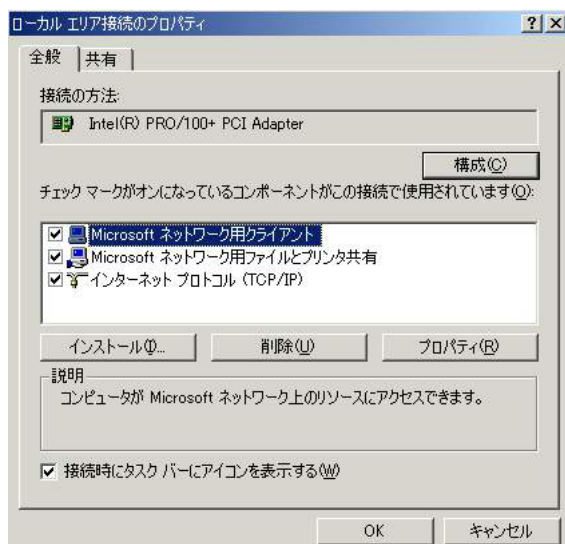
2. 「ローカルエリア接続」を選択し、マウスの右ボタンメニューからプロパティを選択します。

図 ネットワークとダイヤルアップ接続画面



→ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

図 ローカルエリア接続のプロパティ画面



3. 「インストール」ボタンをクリックします。
→ネットワークコンポーネントの種類を選択画面が表示されます。
4. 「サービス」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。
→ネットワークサービスの選択画面が表示されます。

セットアップ (つづき)

5. [ディスク使用] ボタンをクリックし、参照先の入力欄にビデオサーバーソフト (VideoShower) をインストールしたディレクトリのパス (C:¥Program Files¥VNS¥V43) を入力して、[OK] ボタンをクリックします。
6. ネットワークサービスの選択画面に「VideoShower TCP/IP プロトコル」が表示されます。選択して [OK] ボタンをクリックします。

図 ネットワークサービスの選択画面



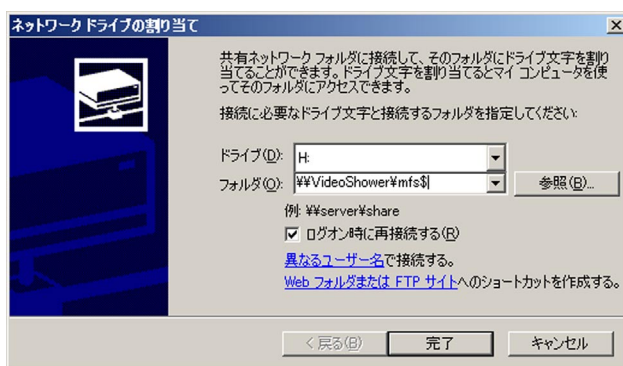
→ファイルのコピーが実行され、ローカルエリア接続のプロパティに「VideoShower TCP/IPプロトコル」が追加されます。

7. [閉じる] ボタンをクリックした後、必ずシステムを再起動してください。

●ネットワークドライブの割り当て（クライアント）

下記画面のように、ビデオサーバー上の共有フォルダー「mfs\$」に対して、ネットワークドライブ割り当てを行ってください。クライアントからビデオサーバー上のコンテンツを再生する場合、ネットワークドライブ割り当てを行ったドライブを開き、コンテンツを選択して再生します。

図 ネットワークドライブの割り当て画面



📌 注意 📌

- ビデオサーバープログラムをセットアップしていなかったり、ビデオサーバーのmfs\$領域をネットワークドライブとしてマウントせずにMicrosoft Windows Network上の共有フォルダ上からコンテンツを再生しても、レート制御が効きませんのでご注意ください。
- ネットワークドライブに「W～Z」を使用しないでください。

動作確認

下記手順に従い、システムの状態監視を使用して、動作確認を行ってください。

1. ビデオサーバーのデータ用ディスク（mfs\$領域）に、MPEG-1動画ファイル（総ビットレート：1.5 Mbps）のファイルを登録してください。
2. クライアント端末がmfs\$領域へネットワークマウントしているドライブ（例：Lドライブ）を開き、動画ファイルを再生してください。
3. ビデオサーバーで、Windowsの [スタート] メニューから「プログラム」→「VideoShower Ver4.3」→「VideoShower Performance」を選択します。
4. Performanceの情報が下記に示すように、Client (TS/SK) が「1 (1/1)」になっていることを確認してください。

<例> Performance

Client (TS/SK)	Disk (Mbps) (r/w)	Network (Mbps) (r/w)	CPU (%)
1 (1/1)	6.029/0.000	0.989/0.000	0

トラブルシューティング

ここでは、動作チェック時および運用中に起こったトラブルへの対処方法を説明します。「確認していただく内容」に従ってご確認ください。それでも直らないときはシステムの電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

起動に関するトラブル

症状	確認していただく内容
サーバー、パソコンが起動しない	●各機器の電源、接続、ブレーカーなどを確認してください。

映像／音声の途切れに関するトラブル

症状	確認していただく内容
映像／音声を再生できない、あるいは途切れる	<ul style="list-style-type: none">●ネットワーク構成、ネットワークケーブル類の接続不良、スイッチングハブのポートが全二重になっているか確認してください。●サーバーのIPアドレスを変更した後、Windows2000 Server / Windows Server 2003を再起動していない場合は、再起動してください。●Windowsの「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」で、「Video Shower V*** (*1)」の状態が「開始」になっているか確認してください。●Video Shower Clientがインストールされているか確認してください。●再生している動画ファイルの総ビットレートが、設定値以上になっていないか確認してください。

*1 お使いのバージョン名が表示されます。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WE-AS880A
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

首都圏本部

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目15番5号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410